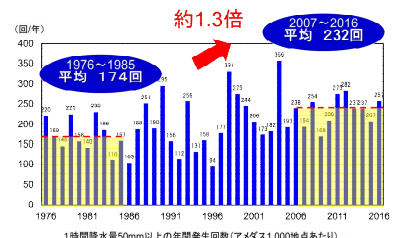


「浸水被害防止に向けた取組事例集」～社会経済被害の最小化の実現に向けて～

○大規模水害時の社会経済の壊滅的な被害を回避し、「**社会経済被害の最小化**」を実現するため、過去の大規模水害が社会経済に与えた影響や企業等における先行的な取組事例等について、「**浸水被害防止に向けた取組事例集**」としてとりまとめ。

第1章 最悪の事態の想定と共有

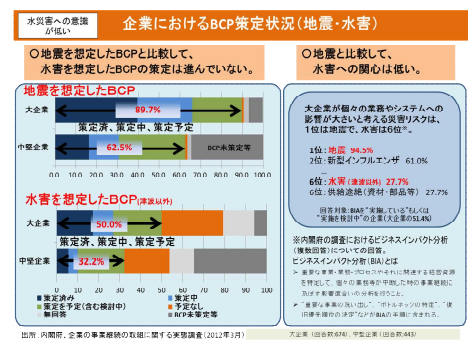
1. 我が国の大都市圏等の課題



時間降水量50mm以上の年間発生回数が30年間で約1.3倍に

大都市圏は人口や社会経済の中核機能が集積し、地下空間の高度利用が進むとともに、地盤沈下によりゼロメートル地帯が拡大

水害に対する脆弱性が増している



2. 企業等の水害対策の現状

地震を想定したBCPと比較して、**水害を想定したBCPの策定は進んでいない**のが現状。

3. 最悪の事態の想定と共有

東京・名古屋・大阪において、社会経済の壊滅的な被害を回避する対策を検討する協議会を設置し、**浸水区域外も考慮した被害想定や対策計画**を各地域でとりまとめ。

第2章 過去の大規模災害が社会経済に与えた影響

大規模水害等に伴う**社会経済に与えた影響を把握**するために、国内外の大規模な被災事例について情報収集・整理



カスリーン台風(1947)、伊勢湾台風(1959)をはじめ平成28年8月北海道・東北を襲った一連の台風(2016) 堤防の決壊による氾濫状況等 **21事例**を整理 (石狩川水系空知川)

第3章 企業及びライフライン・インフラ事業者等における先行的な取組事例

以下の8項目の観点から、**先行的に取組を進めている企業等**を紹介

- ①我が国の社会経済の中核機能の麻痺を回避する
- ②地下鉄、地下街、ビルの地下等地下施設の浸水対策
- ③電力等ライフラインの停止に対する備え 等 8項目

建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業など産業分類別に**61事例**を整理し紹介

〈取組事例の一例〉

【11】トヨタ自動車株式会社 [製造業]

■水害を回避するための取組
○水害時における早期復旧の取組
・2次仕先以降のプロセスにおいて特定の仕先にはサプライチェーンが集中しているケースがあることがわかり、その仕先が被災することにより、部品供給に大きな影響が出た経験から事前のサプライチェーン情報収集と対策検討による、初動の迅速化と復旧の早期化を検討
・災害時における事業継続のために「サプライチェーン調査」と「リスク品目の抽出～事前の対策実行」を平常時から実施

サプライチェーン情報データベースによる情報共有

第4章 企業等の取組を支援する方策について

社会経済の壊滅的な被害を回避するため、国土交通省による**企業等の取組を支援する方策**を整理し紹介

〈取組支援の一例〉

5. 地下街・地下鉄及び接続ビル等への止水板設置の促進

■地下街等の施設の入出口への止水板設置のイメージ

